

侍従川讃歌 (部分2部合唱 王度律高音部)

作詞：藤野一雄
 補作：藤野隆夫
 作曲：藤野一雄

♩ = 92 Moderato

C G C F C A Dm D G

1 A C 4 A か - さ る ひ な の こけむ すた にま わかみず にあき
 2 A イのや こけみずにあて かわ せ なが れあ うどうぼしす

Am F C C Br Am F C C Gr C Gr

でもきよき ながれあり なにしおう わかみずが わか
 のほしから じせうぼし なみきかんの おわし せーす たか

C G C F C Ar Dm Dr Gr

みずがわから じせうがわ なが れながれで すぎのさき だい
 ぼしすーぎて せんせうへ あし かわぬけた かやのさとうら

Am F C C Br Am F C C Gr |1 C |2 C Cr

どうひとも あわたせば おおせきちかく みずぬる む おお ん じせ
 か わぼしき こえたなら ゆうひにはえる ひらかた

F Em Amr Dr G Gr

う どうとうと をながれ れき し きさぎみ る さとはて

Amr F E F Dmr Fa C

て の のりた た りつと とわ の をが れよ

- 1 緑深き朝比奈の 若水川から侍従川 流れ流れて杉の先 大道耕地を見渡せば 大堰近く水ぬるむ
- 2 大水の谷戸を右に見て 川間流れ明堂橋 諏訪の橋から侍従橋 並木観音おわします
- 高橋過ぎて三軒へ あし原抜け高谷の里 内川橋を越えたなら 夕日にはえる平潟湾
- Coda 侍従とうとうと流ね 歴史を刻むふるさとは 照手の夢を語り継ぐ 永遠の流れよ



【侍従川】

朝比奈峠を水源として、大道、六浦を横断し、平潟湾の平潟橋まで流れる、長さ約2キロメートルの河川です。

言い伝えとして、歌舞伎、浄瑠璃などの演目が知られる小栗判官照手姫に出てくる照手姫が身を投げたことを嘆き、その侍従がこの川に飛び込んだことからこの名前がついたと言われています。